

# 岡山市地域公共交通計画(素案)の修正

- ・ 第10回協議会意見の反映  
(計画書に赤字で記載)

# 第10回協議会意見の反映について

## ■第1章「岡山市地域公共交通計画について」関係

該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方・計画（案）への反映	該当ページ
1.目的	マイカーから公共交通への転換の必要性を市民の皆様にも再認識いただくために、カーボンニュートラルについて追記いただきたい。	ご指摘の内容を本文に追記しました。	P2

## ■第3章「計画の目標と基本方針」関係

該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方・計画（案）への反映	該当ページ
2.基本方向	市民生活の質や都市の持続可能性を高めるという観点で記載されている5項目に「脱炭素の推進」を追加すべき。	ご指摘の内容を本文及び図内に追記しました。	P34 P35
3.施策の方向性と役割分担	施策の方向性①持続可能な公共交通ネットワーク構築（階層化）について、「限られた供給力を適切に配分」に加え、「供給力の維持向上」を記載すべき。	ご指摘の内容を本文及び図内に追記しました。	P36 P38
	運賃は、市内中心部と郊外の2つの体系で考えたい。市内中心部はゾーン運賃的なもの、郊外は今より安い運賃としたい。	中・長距離は利用しやすい運賃設定を検討する旨を本文に追記しました。	P38 P63

## ■第4章「目標達成に向けた施策」関係

該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方・計画（案）への反映	該当ページ
目標達成に向けた施策	路線の階層化（支線）で乗り換えが発生することにより、利用客が減ることのないよう、乗継拠点の整備とともに、沿線の住民と密にコミュニケーションをとることも大事。	各施策の情報発信や利用者の意見も取り入れた不断の見直しに取り組む旨を本文及び図内に追記しました。	P44 P88
	利用促進にどう取り組むか、もう少し記述する必要がある。	各施策の情報発信やモビリティマネジメントによる利用促進等に取り組む旨を本文及び図内に追記しました。	P44

# 第10回協議会意見の反映について

## ■第4章「目標達成に向けた施策」関係 つづき

該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方・計画（案）への反映	該当ページ
4. 利用しやすい運賃設定	ICカードシステムに関して記載があるが、新技術（次世代型の決済システム）の活用の検討についても記載いただきたい。	ご指摘の内容を本文に追記しました。	P66
	ハレカハーフの利用促進について、高齢者や障害者だけでなく、子供も対象に加えて利用促進を図っていただきたい。	特定のターゲットや期間、時間を対象とする割引制度など、柔軟な運賃割引の実施を検討する旨を本文に追記しました。	P66
	通学定期について、事業者のサービスで安い設定にしているが、事業者には余裕がなく、また教育支援という観点でも、行政にも割引に対する応分の負担を考えていただきたい。	今後各施策の推進による事業者の経営改善の状況も踏まえて、利用しやすい運賃設定の中で議論したいと思います。	—
5. 利用環境の向上	わかりやすい運行情報等の提供については、例えばソウルの事例を参考に、デジタルサイネージだけでなく、バスに色や番号などをつけて、どのバスに乗ったらよいか利用者がわかりやすくなるよう環境整備を検討いただきたい。	バス路線の見える化のイメージとして、ソウルの事例を追加しました。	P68

## ■第5章「計画の評価・推進」関係

該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方・計画（案）への反映	該当ページ
1. 評価指標と目標値の設定	岡山市のバス利用率は極めて低いため、ユニークユーザーを評価指標として設けてはどうか。	公共交通のユニークユーザー数（一定期間内に1回でも公共交通（路面電車、路線バス）を利用した人の数（重複利用回数を除いた数））を評価指標に追加しました。	P78 P79 P81
	評価指標③R10の路線バス収支率は「90%以上」ではなく、5年で収支が整うように検討してほしい。	目標値を「100%以上」に修正しました。	P79 P83
	評価指標③R10の路線バス収支率は、再度議論が必要。		
3. 着実な計画の遂行（PDCAサイクルとOODAループ）	計画が策定された後について、分科会や作業部会といったところで、継続的に課題を議論できる仕組みが必要。	ご指摘の内容を図内に追記しました。	P88